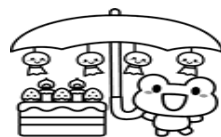


# のびっこつうしん



平成29(2017)年 6月 1日(木)発行



★6月生まれのお誕生会は29日(木)です。

※ 6時間授業の子どもたちが揃ってから始めます。

都合がつく限り5:30のお迎えをお願いします。

※ 宿題が最後まで出来ていない場合があります。ご了承ください。



青く澄んだ空に白い雲がぼっかりと浮かび、日中はまるで夏のような日差しが続いています。これから梅雨に入りじめじめとした毎日がやって来ますが、お天気の良い日は太陽の光をたくさん浴びて活動的に過ごしたいですね。

先日の土曜日には渋川小学校で運動会が開催されました。お天気にも恵まれ、連日の練習の成果を十分に発揮することができ、子ども達の歓声と笑顔が弾けていました。

子ども達は毎日の学校生活の中で勉強だけでなく様々な行事に向けての活動にも参加しています。毎日、膨大な量の情報が入り、頭の中で整理して…と大忙しですね。。疲れていたり、イライラしたり、悲しかったり…反対にとっても嬉しいことがあったり…子ども達は様々な表情をしながら帰ってきます。すぐに宿題を始めないといけないと頭では分つていながらも中々取り掛かれないこともあります。そんな時には少しでも早く宿題や荷物の整理に取り組めるよう話を聞いたり、時には距離を置いて見守ったりしながら子ども達一人ひとりに向き合い、寄り添っています。

宿題が最後までできていなかったり、お友達とトラブルが起きることもあります。お迎えの時に保護者の方に出来るだけ詳しくお伝えしています。そんな子ども達の様々な姿を保護者の方と共有しながら、共に考えていきたいと思っています。普段、感じておられることや保護者の方の思いなども聞かせていただきたいと思います。

子ども達の「自律(自立)」や「成長」に向けて、日々の頑張りを受け止めていきたいですね。



## 子どもたちの姿



### のびっ子渋川では…

こま回しが大流行です。のびっ子のこまも数に限りがあり、使いたくてこまを隠したり、取り合いになったり…という姿が出てきました。そこで、“マイこま”の持ち込みを始めました。(お約束は『こま、ひもに名前を書く』など玄関に掲示)現在10名程の子どもが持ってきていますが、検定など、より深く遊べるよう支援員もかかわっていきたくと考えています。

環境にも慣れて、見通しもてるようになってきましたが、お片付けが苦手なようで図書のコナー、LaQやカプラなど遊んだまま散らかっていることもあります。使ったものは片づけられるよう、その都度、子どもたちともお話をしながら声をかけていきたいと思ひます。



きゅうりの丸かじり…楽しみです！！

夏野菜の苗を植えました！！

子ども達と一緒に何を植えるか(何を食べたいか…)を考えて「きゅうり」と「ミニトマト」の苗を植えました。「早く大きくな～れ！！」「早く食べたいな～」と苗に語りかけながら水やりをしています。



ミニトマト、いくつ食べられるかな～！？



### のびっ子笠縫東では…

現在、のびっ子の前に広がる芝生広場は夏芝の養生の為、ロープが張られ立ち入り禁止になっています。憩いの場の芝生が使えず虫探しが出来なくて残念ですが、キックベースボールやドッジボール、サッカーとグラウンドを走り回っています。1年生はバドミントンのネットにシャトルを当てるのに一生懸命時々夢中になりすぎてお友達とぶつかることもあります。安全に遊べるように子ども達と職員と一緒にルールを考えています。

お誕生会の司会や全員あそびの内容は3年生が中心になり話し合いが連日持たれています。昨年の経験を活かし、意欲的に取り組んでいます。

日々の遊びや行事などどんな経験からでも自信の積み上げにつながるのだなあ…と、改めて感じています。



### 失敗は成功の基…！！

子ども達はさまざまな失敗をして、成長していきます。それは大人も同じで、失敗に学ぶことが多いものです。失敗をしてそのダメージから立ち上がるのには、後悔や葛藤が繰り返され、時間が必要です。時には自信をなくして落ち込むこともあります。失敗してもまた繰り返し挑戦すればいい…と優しく見守り、声をかける大切さをわかっていても、つい子どもの失敗を責めてしまいそうになることもあります。失敗することがいいことではなく「子ども自身が失敗に気づき、自分で立ち直り、次への挑戦をし、失敗をのりこえて大きくなる」というプロセスが大切なのです。

その為に、子どもが何かに挑戦したり、何かを乗り越えようとするときに、支援し応援できる存在が親や周りにいる大人なのです。

(※『日本の学童保育』より抜粋)

私達大人は、ついつい先を見て失敗のないように口や手を出してしまうこともすくなくありません。

「失敗は成功のもと」という昔からある諺を心の中で繰り返しながら、子ども達の失敗が成長の糧になるように必要な時には手を差し伸べ、優しい笑顔で応援できる大人でありたいですね。

